



嘉数っ子のみなさんおはようございます。  
2学期がスタートして1か月が過ぎました

じゅぎょうさんかん  
授業参観



9月は今年度初めての授業参観がありましたね。  
夏休みにがんばった作品展示や授業中みんなの頑張っている様子をおうちの人たちにみてもらった授業参観はどうでしたか。  
また、学校での頑張っている様子を見てもらいたいですね。

10月30日  
嘉数小学校  
運動会



次の機会は

10月30日の運動会。

運動会のテーマのもと、強い心で技を磨き体を鍛えながら、  
運動会のめあてを達成できるように頑張ってください。



さて、嘉数小学校運動会の10月30日は、沖縄にとってある特別な記念日になっていますが、  
嘉数っ子のみなさんは知っていますか。  
ちなみに翌日の10月31日はハロウィンですね…  
10月30日といえば

# ウチナンチュ!

10月30日は「世界のウチナンチュの日」



「世界のウチナンチュの日」という記念日なんです。  
みなさんは「世界のウチナンチュ」ということばを聞いたことがありますか。

「うちなんちゅ」とは私達沖縄県民のことですね。  
世界はことばの通り、地球上にあるたくさんの国々のことをまとめていう言葉です。

それでは、なぜ10月30日が「世界のウチナンチュの日」になったかという

と世界中にひろがったウチナンチュがここ沖縄に集まって

「世界のウチナンチュ大会」が行われた日を記念して、

「世界のウチナンチュの日」にしたのです。

では「世界のうちなんちゅ大会」はどんな大会かというと、





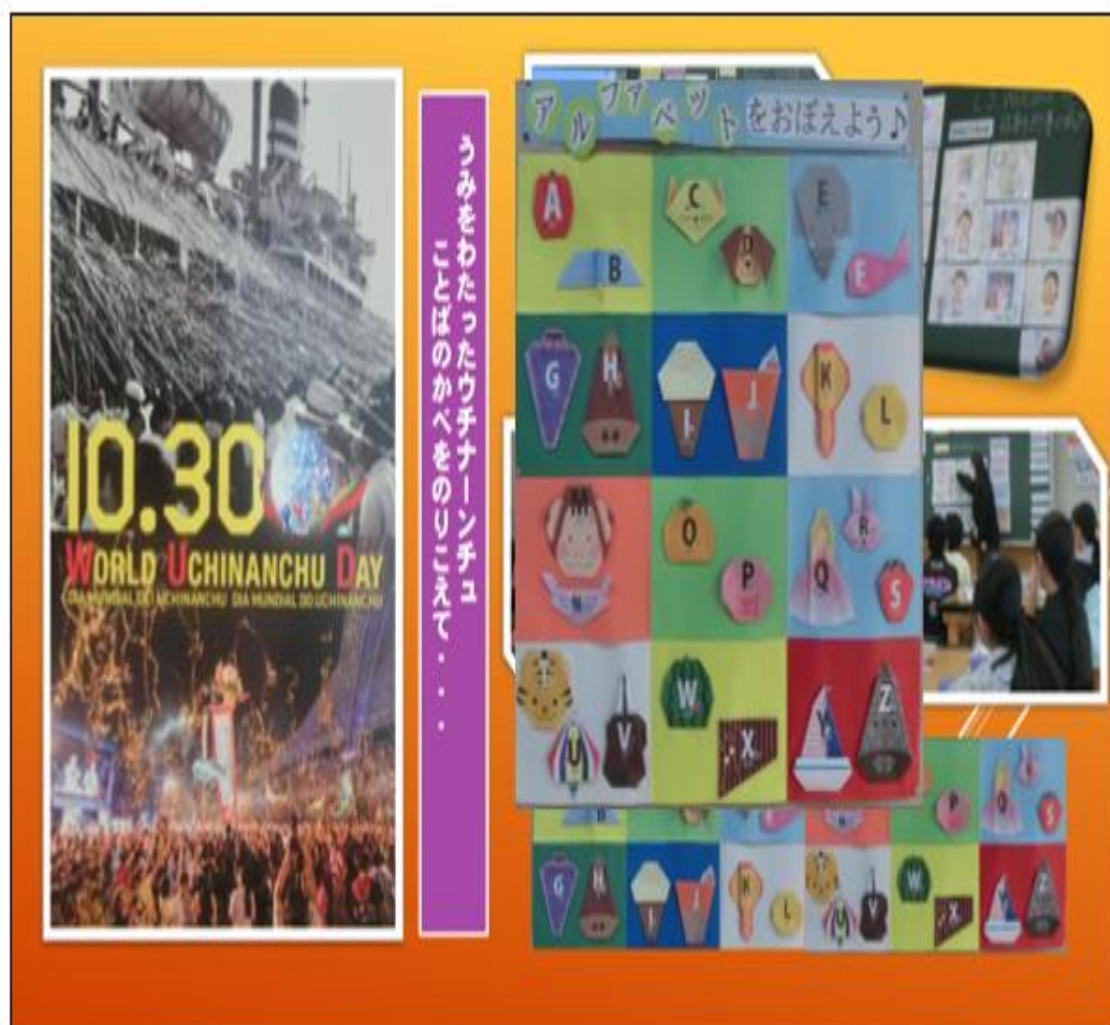
いまから123年前の1900年、画面に映し出されている地図の中で茶色に塗られ国名がかかれているところに、たくさんのウチナンチュが移り住み、生活をするようになりました。その人たちのことを移民といいます。そのころの沖縄は今では想像ができないくらい生活が貧しくて食べ物にも困る家が多かったといわれています。そこで、沖縄から集団で外国に移り住み、働いて貯めたお金を沖縄に住む家族へ送ることで沖縄の生活を支えたのがウチナンチュ移民の人たちです。



ウチナンチュ移民の人たちにとって外国での生活は大変で、その国の人たちと仲良くなることも簡単ではなく、とても苦勞したそうです。言葉も生活の仕方も違うので、ウチナンチュのことをあまりわかってもらえず、悔しい思いをたくさんしながらも、一生懸命働き続け、沖縄の家族を支え続けました。

つらい日々を送りながら、悔しい思いや苦勞に負けずに頑張れたのは、ふるさを沖縄のためにという強い思いでした。そして、沖縄を思う気持ちの強いウチナンチュ同士、助けあい、協力し合い、支え合って乗り越えてきたということです。

それがウチナンチュのちむぐる結マールのところです。



さて、みなさんは今、学校で英語を勉強していますね。自分の言いたいこと、思っていることを英語ですらすらお話することは出来ていますか…移住したウチナンチュも最初からその国の言葉で話ができただけでなく、生活するなかで身に付けていったのです。大変だったことが想像できますね。そんな大変な思いをしながら支え合った仲間だからこそ、心が強くつながり、一緒にのりこえることができたのではないのでしょうか。





世界に広がったウチナンチュは、心のふるさと沖縄を思う気持ちが強く、沖縄の人たちそして、世界のウチナンチュとつながることを願ってきました。その願いが「世界のウチナンチュ大会」につながったのです。大会では、沖縄の歌やおどりで心を一につなぎ、絆を深めていきます。嘉数っ子が学級・学年の心を一につなぎ、楽しみにしている運動会と一緒にですね。10月30日は嘉数っ子小学校運動会、そして「世界のウチナンチュ大会」どちらもチムドンドンしながらの一日になることでしょう。最後に、問題です。校長先生が考える嘉数っ子とウチナンチュが共通しているウチナンチュの心は何だと思えますか…それは、助け合い・協力し合い・支え合う「ちむぐる」ゆいまるの心です。



嘉数っ子ゆいマールの心でこれからも笑顔いっぱい  
楽しい嘉数小にしていきましょう。

嘉数っ子結マールの心で、これからも笑顔いっぱい楽しい嘉数小にしていきましょう。

そして、これから運動会練習が本格的に始まります。  
暑い中体をおもいきり動かすので、熱中症対策にも気を付けながら、技や動きを覚えるのも大変だと思いますが、  
世界のウチナーンチュのように、どんな困難や大変なことも  
みんなの心を一つにがんばって乗り越えて運動会で一人一人輝いてほしいと思います。

運動会練習頑張ってください。  
校長先生はいつも応援しています。

これで校長講話を終わります。  
最後までお話をきいてくれてありがとうございました。